

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 キッズルームライチ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点及び課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	○		利用人数に応じて1階、2階に分かれ過ぎており、今後も状況に応じ活動場所分けサービス提供をおこなっていく。
	②	職員の配置数は適切である	○		人員配置は適切に行っている。今後も適切な人員配置を維持出来るよう努めていきたい。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		サービス提供の前に施設内の環境整備を行っている。今後も環境整備に対しての意識をしっかりとるよう、啓発していく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的にミーティングを行い、業務改善に努めている。より良い支援が提供できるよう、現状の振り返りを行いながら少しずつ改善を行っていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果、ご意見を周知し、改善に努めている。それ以外の場面でも何かしらご意見がある場合は改善できるよう都度努めていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		結果はホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	評価結果をもとに事業所内で話し合い、業務改善を行えるよう努めている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		他の事業所へ訪問・見学したり、研修への参加を行っている。今後も参加の機会があれば都度研修等に参加し、職員の資質の向上を図っていく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的な面談や送迎時に話しを行い、その情報を反映し計画書の作成を行っている。アセスメントに関しては引き続き定期的に更新を行っていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		5領域に対応したアセスメント表を用い、適宜アセスメントを実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングを行い実施する活動案の検討を毎月行っている。今後も全スタッフの意見を聞きながら活動に反映していけるよう努めていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動の企画・実施を通し、行った際の反応や感想を聞きながら、より楽しめる活動の提供を心掛けている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		その日に行う活動やタイムスケジュールを設定しており、それに合わせサービス提供を行っている。今後も設定は同様に行い、お子さんが自分で予定を確認出来るよう提示していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別集団と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		事前に活動の計画も行っているが、その時の状況に合わせ活動を提供している。今後も状況に応じた活動の提供を行っていく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングを事前に行い、その日の活動・担当等を確認している。長期休暇等でも活動予定・担当の割り振りを計画的に行っていく。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	大きな出来事であればその都度、当日の振り返りは翌日に行っている。記録は紙面に残し、スタッフ全体に周知できるよう努めている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	活動記録を全体で行い、特記することがあれば忘れず残すようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○	定期的にモニタリングを実施し、その時のお子さんの状況や学年に応じ何が必要なのか検討している。引き続き進学や卒業の際はしっかり話しを行っていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○	ガイドラインに合わせ、毎月活動計画を作成、実施している。定期的にガイドラインの内容を職員で確認し、ガイドラインに沿った支援の提供が行えるよう引き続き努めていく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	外部の会議には管理者、児童発達支援管理責任者が参加している。それ以外のスタッフも会議への参加の機会が得られるよう計画していく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○	保護者から情報をいただくこともあり、日々の送迎に活かすことが出来ている。現在関わりのある学校と改めて情報共有する方について確認を行い、スムーズな連携が図れるよう努めていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在、対象となる児童はいないが、必要に応じ連絡体制を整えていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	必要に応じ、担当の相談支援専門員と連携を図り、情報共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	必要に応じ、それまで支援を行ってきたサマリーを作成、提供している。可能であれば卒業前に移行先のスタッフに利用状況を実際場で見てもらう機会も提供していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	今年度は発達障害者支援センターのスタッフを講師に招き、研修会を実施している。次年度も研修会への参加を継続し、支援の質の向上に努めていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	課外活動で外出する先でも同年代の子と関わる機会を提供できていない。交流の機会について検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○	協議会等あれば積極的に参加している。今後も引き続き参加を行い、その中で他事業所間のつながりをもてるよう努めていきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎時の都度、当日や最近の様子について話しを行っている。今後も必要に応じて相談・助言等行っていく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	要望は聞かれているが現状実施できていない。今後開催等について検討していきたい。
	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時にしっかりと説明を行っている。気になること等あれば都度対応できる体制を整えていく。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	保護者から要望があれば面談を設定して実施、当所からも必要に応じ面談等行えるようにしている。今後も状況に応じて面談できる体制を整えていく。

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在実施できていない。 今後開催等について検討していきたい。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		何かしら申し出があればすぐに対応を行っている。 今後も何かあれば迅速に対応を行っていく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	現在会報等の発行はしていない。活動等の報告は個別で行っており、今後はイベント等の発信をHUGを活用して行っていく。
	③⑤	個人情報には十分注意している	○		個人情報に関する注意は行っている。 今後も個人情報に対して最新の注意を払えるよう啓発し、サービス提供を行っていく。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		特性に応じて相手に伝わりやすい方法での情報伝達を心がけている。現状を振り返りながら必要な配慮が行えるよう今後も努めていく。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在、地域との連携は行えていないため、今後実施を検討していきたい。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各マニュアルに沿って研修や訓練等実施、それぞれマニュアルを策定していることは契約時に周知している。今後も非常時に対応できるようマニュアルの確認や啓発活動を行っていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的な訓練等は実施し、スタッフだけでなくサービス提供中にも実施している。今後も想定される訓練は継続して行っていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年間スケジュールで委員会の開催、研修を計画し、それに合わせ実施している。今後も同様に研修機会の確保を行っていく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明した上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明を行い、必要に応じて個々に対応を行っている。 今後必要に応じ対応を行っていく必要がある。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		利用開始時にアレルギーに関しては確認。必要に応じて対応の確認を行い、それに関する周知・啓発を行っていく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		大きな事故等起こさないよう、小さな出来事でも共有し対応している。今後小さな事例も減らしていけるよう、今まであった事例の振り返り、危険な場面の確認を行っていく。